

# 1章 be動詞①

## 要点

### 重要ポイント1 a [an], 固有名詞

#### (1) a [an]

物の名前を表す単語を「名詞」と言います。

英語の名詞には「数えられる名詞」と「数えられない名詞」があります。

「数えられる名詞」には、そのものが「1つ」を表す「単数形」と「1つより多い」を表す「複数形」があります。そして「数えられる名詞」は「単数形」か「複数形」かのいずれかの形を必ずとらなくてはならないというルールがあります。始めは「単数形」を中心に学習しましょう。

「単数形」の名詞の前には a か an を付けます。この a [an] を**不定冠詞**と言います。

#### ▶不定冠詞についてのルール

発音が日本語の「ア・イ・ウ・エ・オ」に近い音で始まる「単数形」の名詞の前では an, それ以外の「単数形」の名詞の前では a を付けます。

#### ▶スペリングではなく発音で区別する点に注意しましょう。

たとえば, u を [ju:] (ユー) と発音する場合は, an ではなく a を付けます。

Ex. uniform (ユニフォーム)

また, h で始まる単語で, その後に a, e, i, o, u があって, その h を発音しない時は, a ではなく an を付けます。

Ex. hour (時間)

#### (2) 固有名詞

人名・国名・地名など, 特定のものを表す名詞を「固有名詞」と言います。

#### ▶固有名詞の前には普通 a [an] を付けません。

#### ▶最初の文字は大文字で書きます。

Ex. Mariko (マリコ), Japan (日本), Mt. Everest (エベレスト山)

## ■ 確認問題 1

次の空所に a か an を入れなさい。ただし、入れる必要のないものには×を書きなさい。

次に、それぞれを声に出して言いなさい。a [an] は弱く発音し、次の名詞とつながるように発音すること。

- |                     |                  |                     |                |
|---------------------|------------------|---------------------|----------------|
| (1) (            )  | apple (りんご)      | (2) (            )  | cat (ネコ)       |
| (3) (            )  | bat (バット)        | (4) (            )  | bag (カバン)      |
| (5) (            )  | ant (アリ)         | (6) (            )  | bed (ベッド)      |
| (7) (            )  | egg (卵)          | (8) (            )  | whale (クジラ)    |
| (9) (            )  | Mt. Fuji (富士山)   | (10) (            ) | Kennedy (ケネディ) |
| (11) (            ) | America (アメリカ)   | (12) (            ) | China (中国)     |
| (13) (            ) | book (本)         | (14) (            ) | pencil (鉛筆)    |
| (15) (            ) | uniform (ユニフォーム) | (16) (            ) | hour (時間)      |

## 重要ポイント2 the

a [an] といった「不定冠詞」に対して、特定のものを指す場合は、数えられる名詞にも数えられない名詞にも、単数形にも複数形にも「定冠詞」の the [ðə] を名詞の前に置きます。

*Ex.* the cat (そのネコ), the boys (その男の子たち)

母音 (a, i, u, e, o) で始まる語の前では [ði] と発音します。

また, the はただ1つしかないと思われるものを指す場合にも使います。

*Ex.* the moon (月), the sun (太陽), the east (東)

その他, 前に述べられた事柄からそれとわかるものを指す名詞につける, その場の状況からそれとわかるものを指す名詞につける, といった用法があります。

詳しくはまた後で扱います。

MEMO

### 重要ポイント3 This (That) is ~.

This is ~.

⇒ 手に持っているもの〔人〕や、近くにあるもの〔人〕を指して言います。日本語の「これは～です」にあたることが多いです。

That is ~.

⇒ 遠くにあるもの〔人〕や、離れているもの〔人〕を指して言います。日本語の「あれは～です」にあたるが多いです。

#### (1) This is ~.

This is a book.

これは 本 だ。

This is Osamu.

こちらは オサム君 だ。

- ▶ a book の a は日本語の訳には表れないのが普通。ただし、数えられる名詞は単数形か複数形かを必ずとらなくてはなりませんので、これを書かないと英語としては間違いになります。

英文の書き方

- (a) 文の始めを大文字にします。
- (b) 単語と単語の間に1文字くらいのスペースを空けます。
- (c) 文の終わりにピリオドを打ちます。

#### (2) That is ~.

That is an ant.

あれは アリ だ。

That is Richard.

あの人は リチャード だ。

- ▶ That is を短くして、That's という形を用いることもあります。このような短い形を「縮約形」と言います。
- ▶ This is にはこの縮約形はありません。なぜなら、This's としてしまうと、同じ [s] という音が続いて、とても発音しづらいからです。

▶ This is ～ . は会話では①電話, ②紹介などでよく用います。

①



← This is Bill Johnson.

This is Bill Johnson. →

②



### ■ 確認問題2-1

例にならって下の語を用い, 「これは〔あれは〕～だ」という意味の文を作りなさい。  
また, 短縮できるものは, 縮約形で書きなさい。

次に, イントネーションに気をつけて声に出して言いなさい。

Ex. book [this] ⇒ This is a book.

(1) cat [this]      (2) bat [that]      (3) apple [this]

(ネコ)                      (バット)                      (りんご)

(4) ant [this]      (5) Ken [that]

(アリ)                      (ケン)

### ■ 確認問題2-2

英語で「こちらは○○です」と言いなさい。○○には自分の名前を入れなさい。

### ■ 確認問題2-3

友人に, 英語で「こちらが親友 (my close friend) のフミコさんです。」と紹介する文を作りなさい。

#### 重要ポイント4 This〔That〕is ～. の否定文

「これは〔あれは〕～ではありません」というように、打ち消す文のことを「否定文」と言います。

This〔That〕is ～. を否定文にするには, is の直後に not を置き, **This〔That〕is not ～.** の形にします。

##### (1) This is not (isn't) ～. 「これは～ではありません。」

	This	is		an apple.
	↓	↓		↓
〔否定文〕	This	is	<b>not</b>	an apple.

(これはりんごではありません。)

▶ is not を短くして, isn't という縮約形を用いることもできます。

	This	is not	a cat.
	↓	↓	↓
	This	<b>isn't</b>	a cat. (これはネコではありません。)

##### (2) That is not (isn't) ～. 「あれは～ではありません。」

	That	is		an umbrella.
	↓	↓		↓
〔否定文〕	That	is	<b>not</b>	an umbrella.

(あれは傘ではありません。)

▶ 縮約形

{	That's	not	an umbrella.
	That	isn't	an umbrella.

That is を短くして That's とするか, is not を短くして That isn't とすることもできます。

### ■ 確認問題3

例にならって次の各文を「これは〔あれは〕～ではありません」という意味の文に書き換えなさい。That で始まる文は、2種類の縮約形を使ったパターンで書きなさい。次に、イントネーションに気をつけて読みなさい。

*Ex.* This is a book. ⇒ This is not a book. [This isn't a book.]

- (1) This is a guitar.
- (2) That is an egg.
- (3) This is Kennedy.
- (4) That is Mt. Fuji.

## 重要ポイント5 This〔That〕is ～. の疑問文

This is a cat. のような言い切りの文を「平叙文」と言います。

「～ですか」と言う「疑問文」を作るには、

①平叙文の始めの部分の語順を逆にします。

〔平叙文〕		This	is	a cat	.
〔疑問文〕	Is	this		a cat	?

②疑問文は上がり調子のイントネーションになります。

Is this a cat?

③疑問文を書く時には、ピリオドの代わりに疑問符(?)をつけます(?はクエスチョンマークとも言います)。

答え方

問いの文	「はい、そうです。」	「いいえ、違います。」
Is this ～?	Yes, it is.	No, it is not [isn't].
Is that ～?		

答える時は、Yes、Noを使って答えます。this〔that〕はitに変わります。

「いいえ、違います。」はNo, it is not. か、is notの縮約形isn'tを用いてNo, it isn't. と答えます。it isの縮約形it'sを用いたNo, it's not. はまず使われません。

This is a guitar.

⇒ Is this a guitar? — Yes, it is. It's a guitar.

(「これはギターですか。」「はい、そうです。ギターです。)」

Is that a pen? — No, it isn't. It's a pencil.

(「あれはペンですか。」「いいえ、違います。鉛筆です。)」

▶ itは特別な場合を除いては、最初に話題に登場してきたものを指して使われることはありません。thisやthatの代わりとして、2度目から使われます。

A : Is this a notebook? (これはノートですか。)

B : No, it isn't. (いいえ、違います。)

A : Is that a book? (本ですか。)

B : Yes, it is. (はい、そうです。)

#### ■ 確認問題4

例にならって次の各文を、「これは〔あれは〕～ですか。」という意味の文に書き換え、カッコ内の語を用いて答えの文を作りなさい。

*Ex.* This is a book. (Yes) ⇒ Is this a book? — Yes, it is. It's a book.

(1) This is a pencil. (Yes)

(2) That is Tokyo \*Station. (No ; \*Yurakucho Station)

\*station : 「駅」    \*Yurakucho : 「有楽町」

(3) This is a \*peach. (No ; \*orange)

\*peach : 「桃」    \*orange : 「オレンジ」

(4) That is an umbrella. (Yes)

## 重要ポイント6 What is ~? の文

「これは何ですか。」と尋ねる時には、**What is this?** という形にします。

		This	is	a book	.
	Is	this		a book	?
		What			
↓					
What	is	this			?

- ① what のような語を疑問詞と呼びます。
- ② 疑問詞を用いた疑問文では、イントネーションは下がり調子になることが多いです。  
What is this ?
- ③ 疑問詞はいつも文頭に來ます。語順に注意しましょう。

▶ 「あれは何ですか。」は、What is that? になります。

▶ 「～は何ですか。」の答えは、It is ~. となります。

What is that? — It is an umbrella.

(「あれは何ですか。」「傘です。」)

▶ What is の縮約形は What's である。会話では、答える場合も It's ~. と縮約形を使う方が普通。

What's this? — It's a book.

(「これは何ですか。」「本です。」)

## ■ 確認問題5

次の文の下線部を問う疑問文を作りなさい。

- (1) This is a \*ball. \*ball : 「ボール」
- (2) That is an \*album. \*album : 「アルバム」
- (3) That is Mt. Fuji.
- (4) This is an apple.